

令和6年度第2回狭山市男女共同参画審議会 議事録

開催日時：令和6年11月27日（水）午後6時00分～7時20分

開催場所：狭山市役所6階 604会議室

出席委員：千葉委員、菅野委員、木村委員、横山委員、松本委員、藤田委員

欠席委員：小久保委員、草川委員、町田委員

傍聴者：0人

事務局：増田市民部次長兼市民相談課長、
堀内男女共同参画センター所長、桜井同主査

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 令和7年度男女共同参画に関する市民意識調査について

ア) 令和7年度男女共同参画に関する市民意識調査の概要 (事務局より資料1、参考資料①について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 前回調査対象者が2,000人で有効回答数が1,050人とおよそ半数が回答しているが、他市の同様な調査では、3割程度の回収率である。もっと市民の意見を吸い上げるために対象者数を増やすことは考えているのか。

事務局 前回調査の回収数による有効性は満たしており、これまでの調査との比較を行うことも踏まえ、対象者は前回調査と同数の2,000人で行いたい。

委員 Web回答を併用するとのことだが、同一人の郵送回答と重複することはないのか。

事務局 対象者に番号を振り、Web回答時にその番号を入力いただく方法を検討している。これにより、郵送回答とWeb回答の重複のチェックを行うので、重複回答は防げると考えている。

委員 回収率が高くなるように工夫していることはあるのか。

事務局 対象者に礼状兼督促状を発送している。その効果として、他自治体と比較すると、回収率が高いのではないかと推測される。当調査は近年、当市で行っている他の意識調査と比較しても回収率が高い。他の調査では督促を行っていないことが多いと聞いている。今回の調査時の礼状兼督促状の送付については、費用面も考慮し検討したい。

委員 無作為抽出とあるがどのように対象者を選ぶのか。

事務局 システムの部署に依頼をすることとなるが、総数2,000として、年代ごとの抽出数を設定し、システムにより無作為抽出を行う。

- 委員 2,000人という数は妥当だと思う。調査用紙を郵送することだが料金が相当かかる。郵送とWebでの回答とのことだが、郵送で依頼する人とWebで依頼する人がいるということなのか。
- 事務局 配布方法については、対象者全員に対して郵送で行い、回答方法は郵便かWebどちらかを選んでもらう形とする。
- 委員 Web回収率、郵送回収率は、それぞれ分かるものなのか。
- 事務局 それぞれ集計することができる。
- 委員 Web回答の場合、質問数が多いと回答しないのではないかと考える。郵送の回収率が高いのであれば、コストはかかるが予算化しておく必要があるし、Webでの調査は安くできるので、1,000件の回答をもらえばいいという趣旨であれば、Web上にアンケート調査を掲載するという形でもいいと思う。ただ、回収率にもこだわり、回答内容もそれなりのものを求めるのであれば、この辺りの分析が必要と考える。
- 会長 今回の調査では、対象者に郵送で調査票を届け、回答は郵送またはWebのどちらを使っても良いとのことだが、回答方法が2種類になったことで、回収率にちょっとした違いが出てくる可能性があるのではないかと。自分はこのような調査は紙で提出したいと思う。
- 委員 対象者に回答方法を選んでもらう方法は良いと思う。Web回答のほうが画面コピーで残せるので良いという人もいる。
- 事務局 前回の調査では、若い世代の回収率が低く、世代年齢が上がると回収率が高くなるという傾向であった。若い世代にとっては、スマホなどで二次元コードから手軽にアンケート回答ができるという点で、前回回収率の低かった若者世代の回答数の増加に繋げられるのではないかと考える。
- 事務局 前回調査の際、自由意見でWeb回答できるようにしてほしいとの意見もあった。
- 会長 他に新しい情報があったら、次回審議会の際にお知らせいただきたい。

イ) 前回調査(令和2年度)の調査項目との変更点について
(事務局より資料2について説明)

〈質疑応答・意見〉

- 会長 問18~21のハラスメントやDVに関しては見聞きした経験があるか聞くだけだと不十分だと思っていた。今回の調査では、その後の相談についても聞いているので、その点良くなったと思う。また、防災復興対策についてだが、最近も地震が発生しており、避難となったとき男性と女性あるいはマイノリティの方の扱いなどで厳しいものがある。それについて

てこのような調査から読み取り、市が考えていくべきだと思うので良い設問だと考える。

委員 防災について、この意識調査で性別に配慮した取り組みというものを聞いているが、他の部署で防災について調査を行っているのか。

事務局 市民からの意見を聞く機会はある、避難所マニュアルなどに反映することもある。

委員 自治会と行政が連携して総合防災訓練を行ったが、それとは別に社会福祉協議会でボランティアセンター立ち上げ訓練を行った。防災訓練で避難所開設訓練も行ったのだが、縦割りがあることを感じる。自治会からも意見を出しているが、各所をまとめられるのは市だと思う。性別、ペットを飼っている方、介護が必要な方など色々な問題があって全員が一緒のところに集まれるかというところではない。そのようなことを考えるとやはり市が中心になってほしいという意見がある。このような意識調査から見えてくるものはあると思うのでそれを市の政策に入れ込んでもらえると良い。

委員 問27で「障がい者」とあるが、これには「障害児」も含まれているのか。小児看護の分野では、障害児・者と呼ぶことが多い。

事務局 表記をそのようにしたい。

委員 問22でLGBTQとあるが、プラスを付けない理由はあるのか。

事務局 国ではプラスを付けた表記をしていないが、今後の動向を注視し、対応したい。

会長 設問への回答で、「はい」・「いいえ」の選択肢だけでなく、具体的に記入ができるものはあるのか。

事務局 「その他」として、具体的に自由記述できる項目を設けている。

ウ) 市民意識調査(案)について
(事務局より資料3について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 この調査を回答する際、どのくらいの時間が必要なのか。

事務局 回答に必要な時間については想定していなかった。
実際、どれくらいの時間を要するのか計測し、次回審議会で報告したい。

委員 忙しい方だと、目安の時間を見て「15分で終わるなら回答してもいいかな」と言うように、回答するかしないかを判断するかもしれない。

- 会 長 回答時間の目安表示があっても良いと思う。
- 委 員 ネットでアンケート回答をする際、進捗状況を表す棒グラフなどが表示されることがあるが、終了までの目安とすることができてよい。
- 事務局 Web 回答による、入力フォームは今後作成する予定。市が使用するシステムで、進捗状況をグラフ表示するのは難しい可能性が高いが、「○/□」といったページ数などで進み具合を示すようなものを考えたい。
- 会 長 個人的には回答時間は 20 分を超えないほうが良いと思う。
- 委 員 「こども」の表記をひらがなにするとの話だったが、問 19 の補足説明の欄に漢字記載が残っている。
- 事務局 修正させていただく。
- 委 員 表現方法の都合かと思うが問 14 の選択肢で「こどもができたらやめる」や「やめたほうがいい」などひらがなが多く、読むと不明確な印象がある。
- 事務局 バランスを見て修正させていただく。
- 会 長 「こども」の表記は時期によって変わるが、この調査の中では統一していただければ構わないと思う。また、具体的に書き込む項目については、書き込みをするのに十分なスペースを取ったほうが良い。
- 事務局 調査票の体裁は今後整させていただく。
- 事務局 問 18、問 19、問 22 について、DV やハラスメントなどの経験の有無を聞くにあたり、対象期間を設定したいと考えている。期間を設定しないと、年代によっては、数十年前の経験を聞くこととなり、現在の傾向が読み取れなくなってしまう可能性があるためである。意識調査が 5 年に 1 回実施されるので、その期間に合わせて設定したいと考えている。
- 委 員 前回調査では DV に当たるかを知っているかどうかくらいの選択肢であったので選択しやすかったが、今回の設問・選択肢だと、経験があるかという問いのため、考え込んでしまって切りがない。
- 委 員 昔はセクハラやパワハラなどの言葉自体も法制度もなく、もちろんそのようなことがあってはいけないのだが、それらが当たり前にある時代があった。だから、期間を設定しないと、当時の経験も拾い上げてしまうので、期間設定を必要だと思う。
- 委 員 調査で出てきたデータを分析することになると思うが、少し細かすぎる

ような気がする。

委員 確かに細かい内容だが、若い世代では、「受け取る側が不快なものはハラスメント」という考え方が当たり前になってきているから、このような設問には簡単に答えられると思われる。いろいろな感じ方、回答があり、統計で示されるのがアンケートであり、それで良いと思う。

委員 見たり聞いたりというのも期間を区切って聞くのであれば良いと思う。それを決めていないと、古い記憶まで遡ってしまう。また、この設問は「答えられない」「分からない」という場合は、設問をスキップできるようなものがあれば素直に答えられる気がする。

事務局 「答えられない」などの場合は、アンケート用紙での回答では、未記入のままでも対応可能であり、Web 回答では、入力無しでも先に進めるように設定すれば問題ないとする。

会長 集計結果では、年代別のデータは出てくるのか。

事務局 お出しする。

会長 次回の審議会で再度調査票案が提示されるのか。

事務局 提示する。他に質問や意見などがありましたら、12月20日（金）までに事務局へメールをいただきたい。
また、今後のプラン策定スケジュール(案)を、参考資料2として提示させていただく。現時点での暫定的なものとなるので、了承いただきたい。

以上

4 閉会